

2019年度
(令和元年度)
道東ドクターヘリ運航実績報告書

2021年3月
道東ドクターヘリ運航調整委員会

目 次

I. はじめに	1
II. 出動状況	2～
(1) 年度別 要請件数	2
(2) 市町村別 出動件数	2
(3) 要請不応需（未出動）	3～
(4) 運航状況日数	4
(5) 要請機関別 出動件数	5
(6) 出動区分	6
(7) キャンセル内訳	7～
(8) 要請事由	8
III. 傷病者状況	9～
(1) 年齢階層	9
(2) 疾患分類	10
(3) 重症度分類	11
IV. 搬送状況	12～
(1) 搬送形態	12
(2) 収容病院	13
(3) 時間経過	14
V. 転帰・ドクターヘリの効果	15～
(1) 転帰	15
(2) ドクターヘリの効果	16～
VI. 会議等	18
(1) 道東ドクターヘリ運航調整委員会 役員会	18
(2) 道東ドクターヘリ症例検討会	18
(3) 道東ドクターヘリ運航調整委員会	18
(4) 道東ドクターヘリ運航調整委員会 事後検証部会	18
VII. 参加訓練	19
(1) 組合内警防活動訓練（網走地区消防組合）	19
(2) 釧路市防災総合訓練（釧路地区）	19
(3) 道東ドクターヘリ就航10周年記念行事 ドクターヘリ公開訓練	19
VIII. 記念式典・講演会	19
道東ドクターヘリ就航10周年記念式典・講演会	19

I. はじめに「2019年度 道東ドクターヘリ運航報告」

道東ドクターヘリ（基地病院 市立釧路総合病院）は2009年10月に道北ドクターヘリ（同 旭川赤十字病院）と同時に導入され、2005年導入の道央ドクターヘリ（同 手稲溪仁会病院）、2015年導入の道南ドクターヘリ（同 市立函館病院）と併せて現在道内では計4機が導入されている。

ドクターヘリの第一の目的は人命にかかわる救急現場に医療資源を投入することで、初期治療の開始を早めて救命率を高めることは論を待たない。さらに、ドクターヘリは短時間で医療機関への患者搬送が可能な高速移動手段でもある。事案に限らず搬送時間の短縮は地域で完結できない救急医療の広域化に一定の役割をはたす。また、ドクターヘリの遠隔地への出動は救急隊や医師・看護師の陸路往復のための長い拘束時間を減らし、結果的に地域医療資源の効率的な活用につながる。

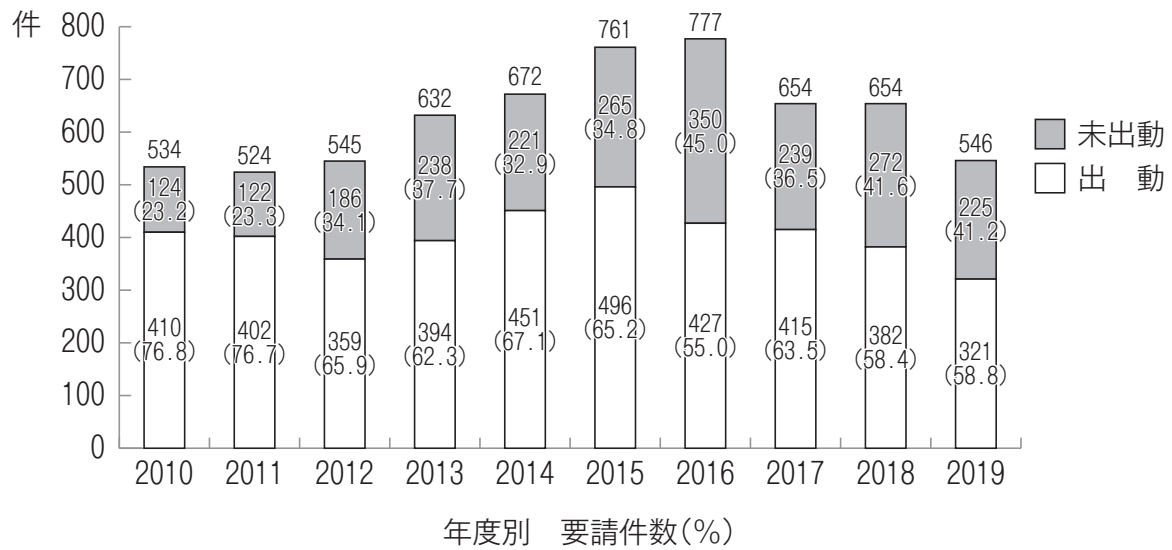
2019年度中の道東ドクターヘリの要請件数は546件、総出動件数は321件であった。内訳は救急現場出動159件、緊急外来搬送37件、施設間搬送76件、キャンセル49件（離陸前キャンセル16件含まず）となっており、2009年10月の運航開始以来、総出動件数は4,197件となった。2019年度中の運航における道東ドクターヘリ運航状況、転帰、効果等について分析を行い、その有効性と今後の道東ドクターヘリ事業の充実に向けた課題を明らかにすることを目的に、運航実績について道東ドクターヘリ運航調整委員会事後検証部会にて検証を行ったので報告する。

ドクターヘリが円滑な活動を行うためには、消防機関をはじめとする各関係機関との連携が不可欠である。定期的実施している症例検討会、地域MC協議会事後検証部会などでの議論を通し、安全運航の継続を最優先課題として今後も関係機関と緊密な連携をとりながら活動を続けていきたいと考えている。

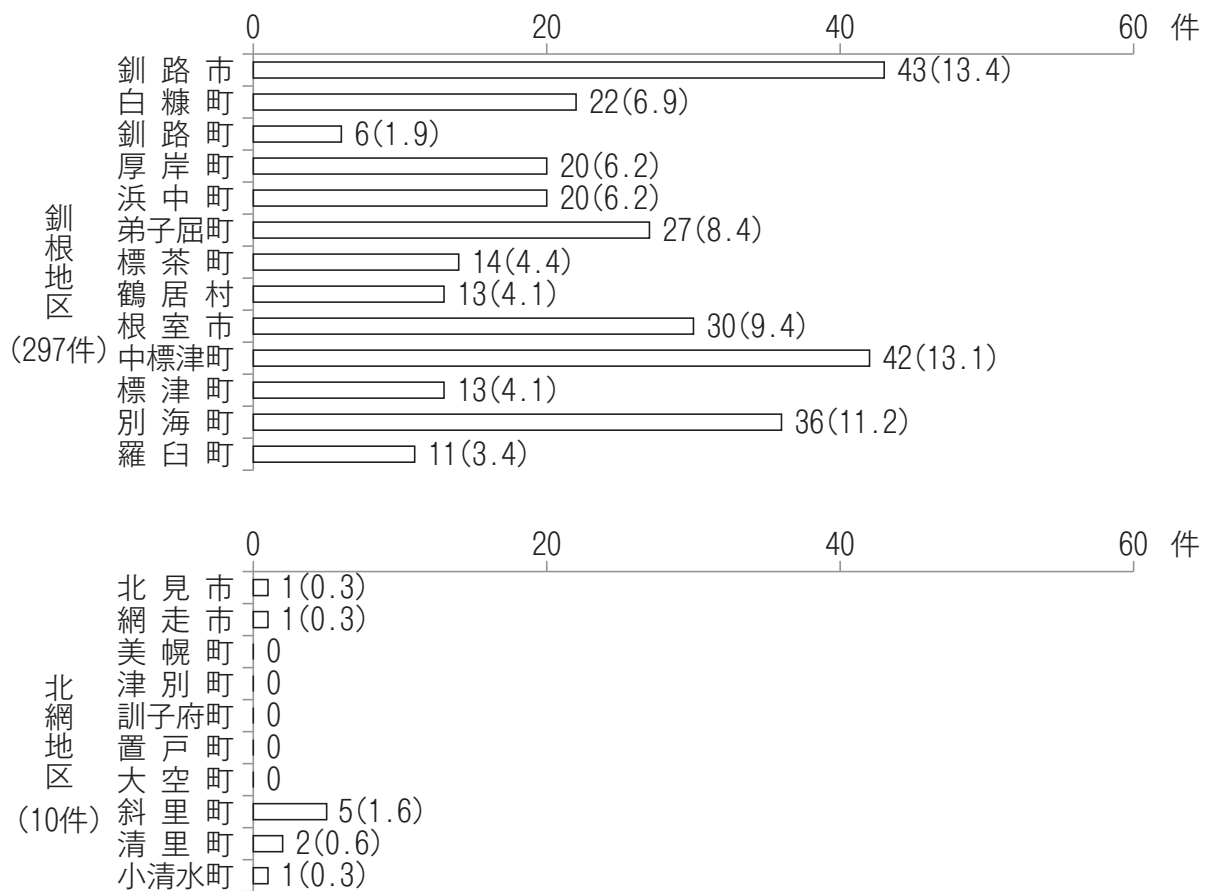
道東ドクターヘリ事業は運航開始から事故なく10年を越え、道東の地域医療における通常のインフラと位置付けられており、今後も地域の皆様のご理解、ご協力をいただきながら事業を安定的に継続させ、さらに発展させていきたい。

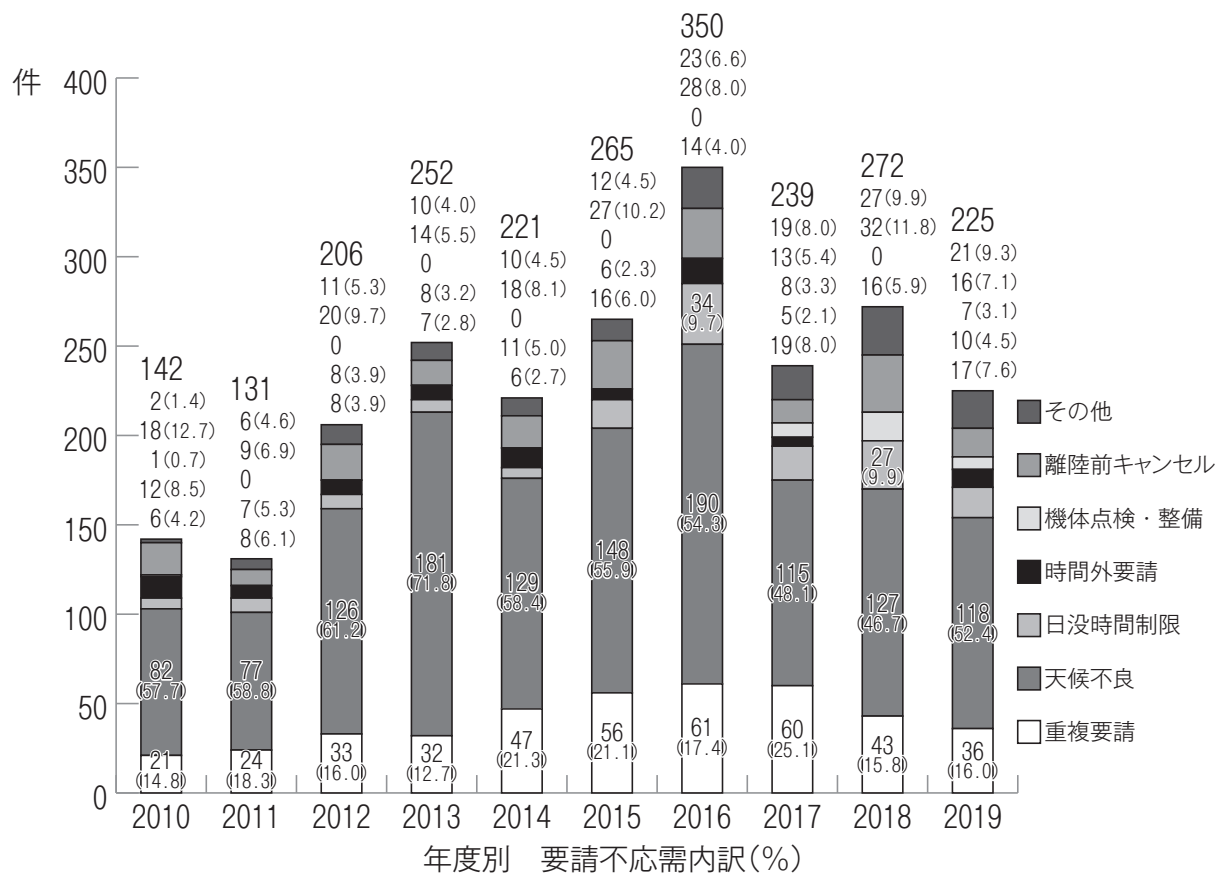
Ⅱ. 出動状況

(1) 年度別 要請件数

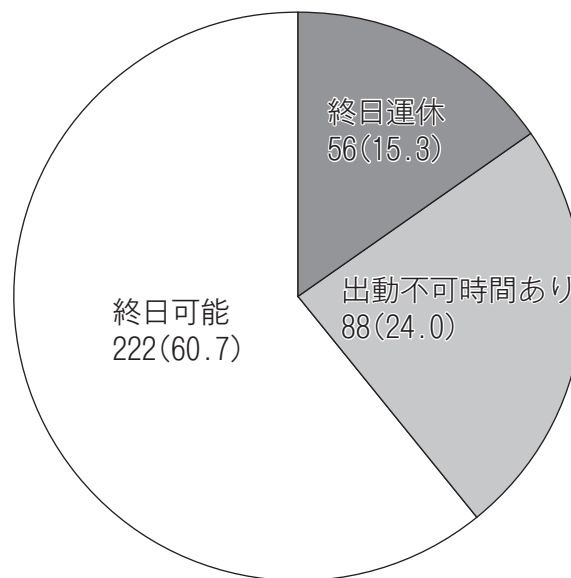


(2) 市町村別 出動件数





(4) 運航状況日数



日数内訳

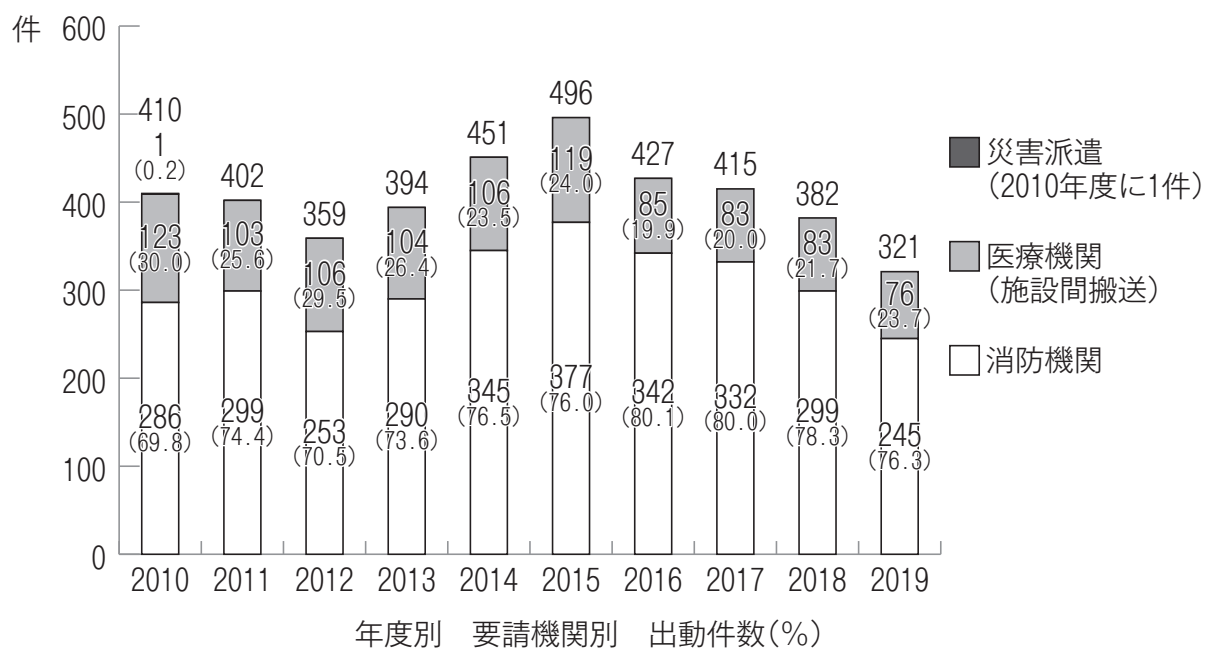
	天候不良	機体不良	その他	計
出動不可時間あり	88	0	0	88
終日運休	50	6	0	56
計	138	6	0	144

2019年度 運航状況日数(%)

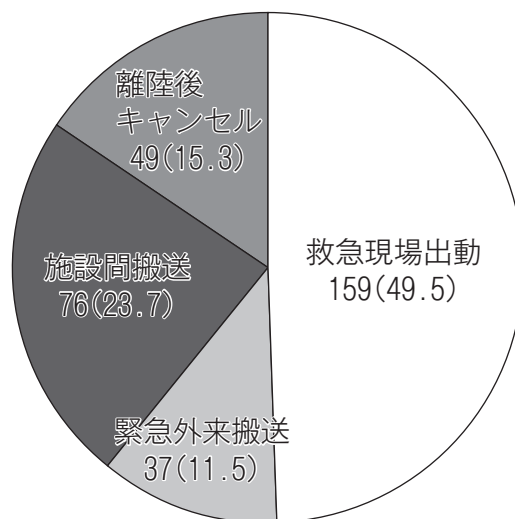
(5) 要請機関別 出動件数

(施設間搬送) 医療機関	市立釧路総合病院	2	76 (23.7%)
	セセツカ診療所	1	
	道立阿寒湖畔診療所	1	
	町立厚岸病院	1	
	浜中町立浜中診療所	1	
	つるい養生邑病院	1	
	摩周厚生病院	9	
	市立根室病院	22	
	町立中標津病院	24	
	中標津脳神経外科	1	
	標津町国民健康保険標津病院	5	
	町立別海病院	5	
	知床らうす国民健康保険診療所	3	
消防機関	釧路市消防本部	61	245 (76.3%)
	釧路東部消防組合消防本部	44	
	釧路北部消防事務組合消防本部	44	
	根室市消防本部	8	
	根室北部消防事務組合消防本部	64	
	北見地区消防組合消防本部	1	
	網走地区消防組合消防本部	1	
	美幌・津別広域事務組合消防本部	0	
	斜里地区消防組合消防本部	8	
	とかち広域消防局	13	
	日高東部消防組合消防本部（圏域外）	1	
			321

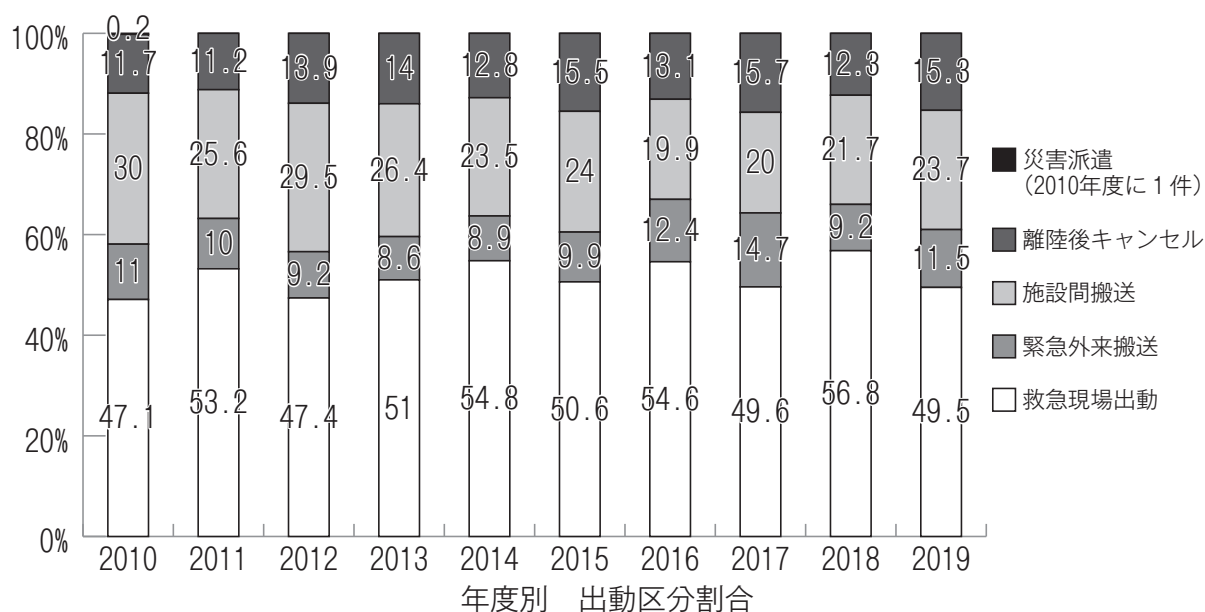
2019年度 要請機関別 出動件数(%)



(6) 出動区分



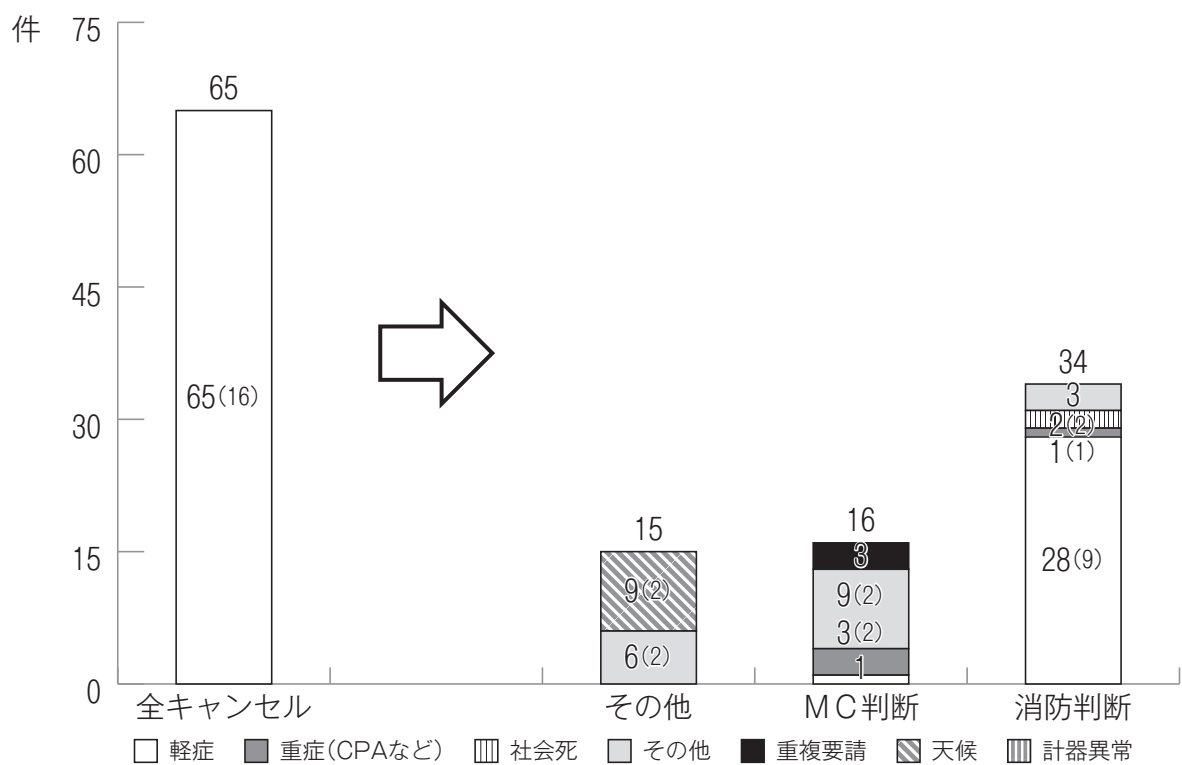
2019年度 出動区分 (%)



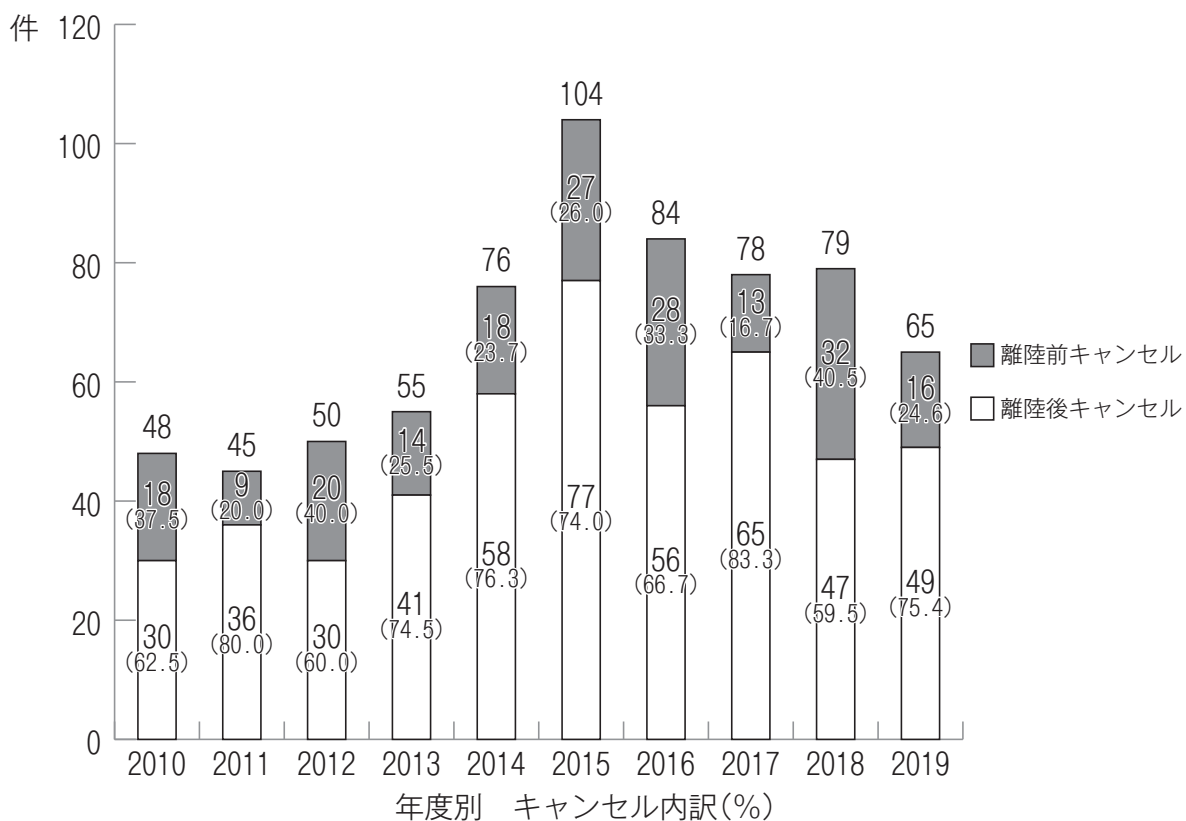
【用語解説】

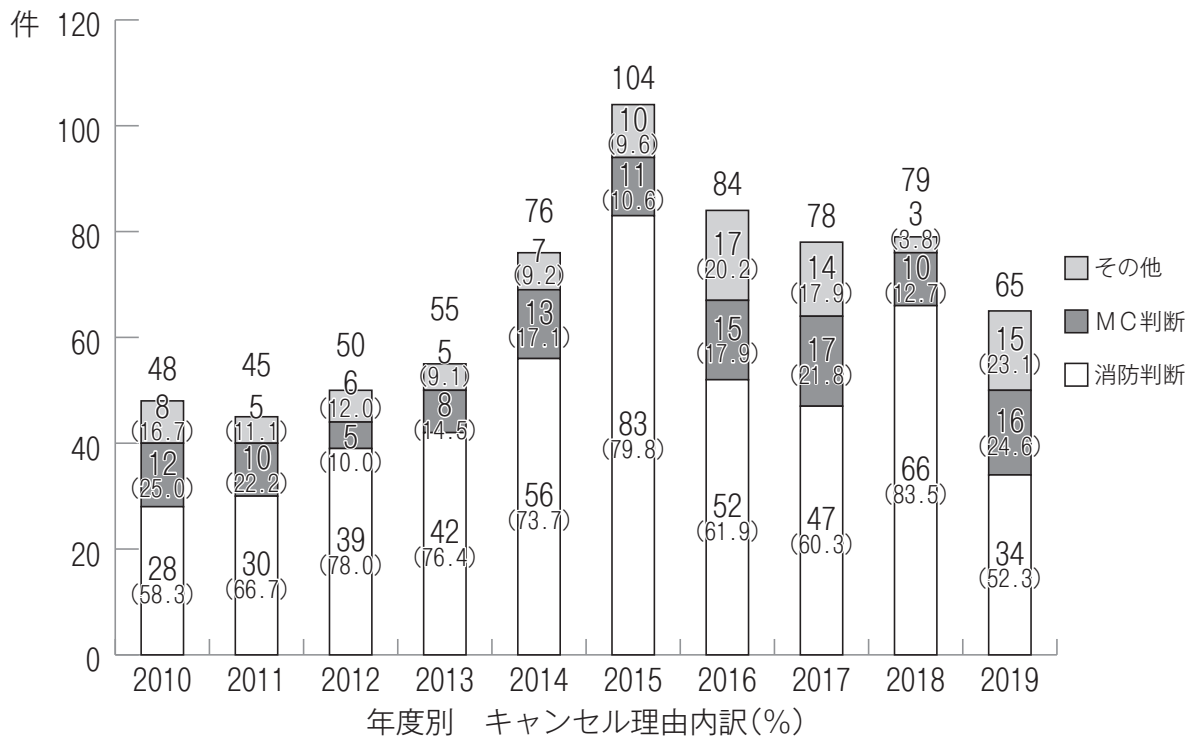
- 救急現場出動** : 現場の直近や、あらかじめ設定された救急隊との合流地点に着陸し、傷病者の処置を行う出動方式。
- 緊急外来搬送** : ドクターヘリと救急隊の合流に時間を要する場合、一旦救急隊が近隣の医療機関に搬送し、初期治療を行い、その後、フライトドクター、ナースが合流する出動方式。
- 施設間搬送** : 既に入院している患者を、高次医療機関又は専門医療機関へ転院搬送する出動方式。
- キャンセル** : 要請機関からの出動要請に応じるも、救急隊現場到着時の傷病者状況及び搬送元医療機関の医師等の判断、出動後の天候悪化などにより出動が取消しとなったもの。

(7) キャンセル内訳



2019年度 キャンセル理由(内離陸前キャンセル数)



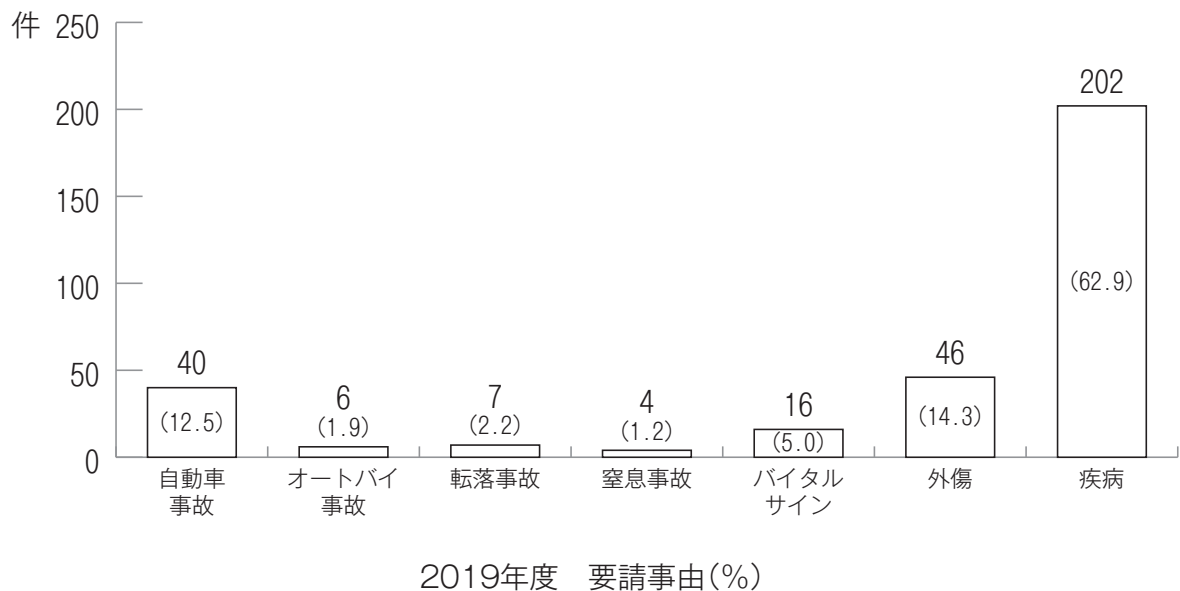


【用語解説】

消防判断 : 現着した救急隊など、消防機関による判断。

MC判断 : メディカルコントロール(Medical Control)による判断。

(8) 要請事由

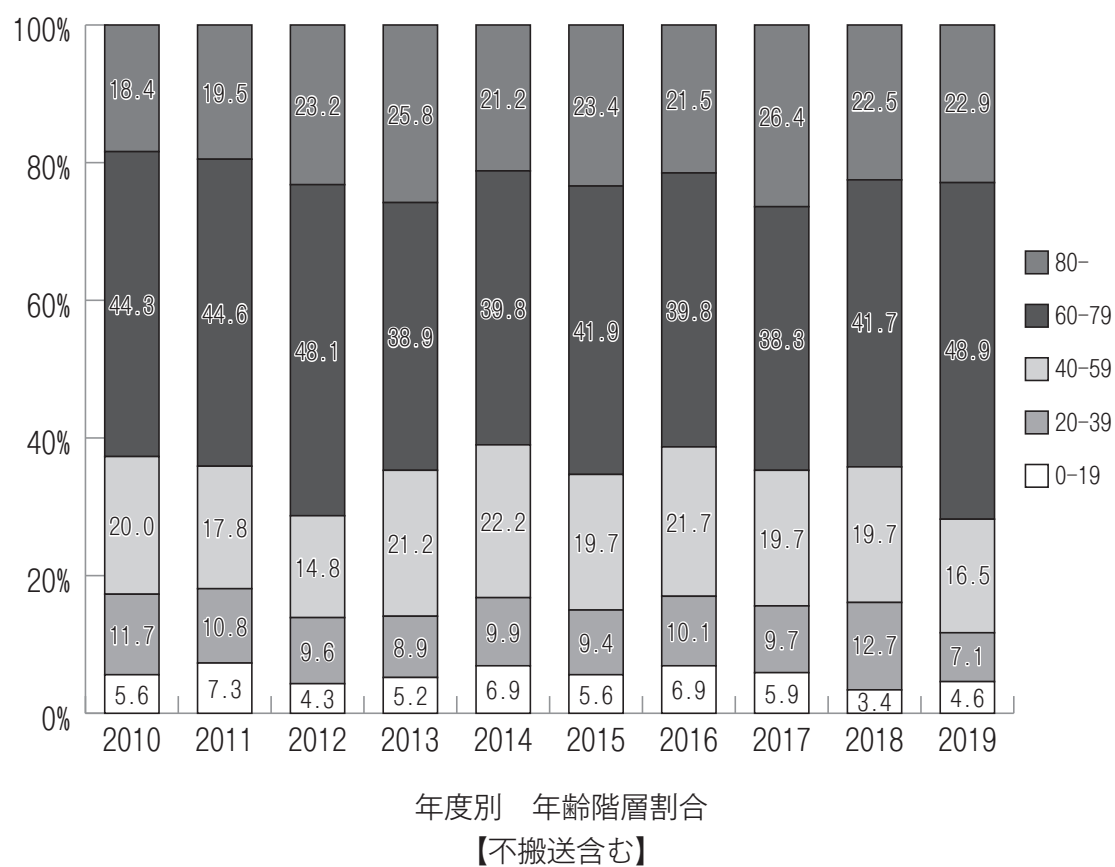
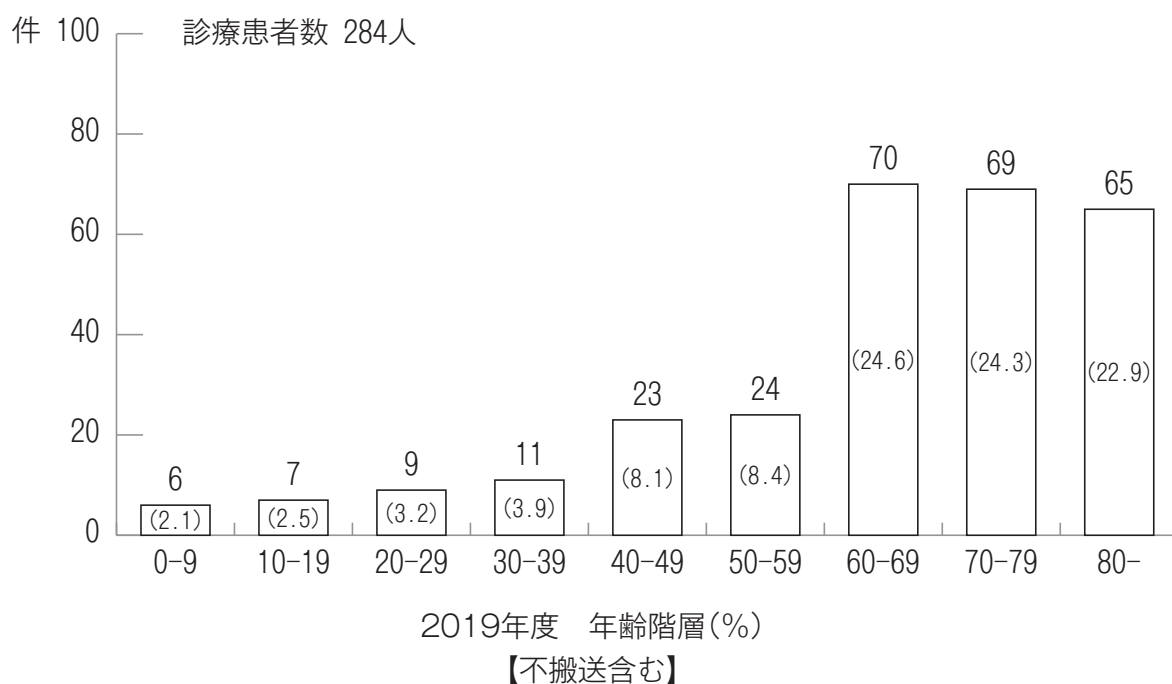


【用語解説】

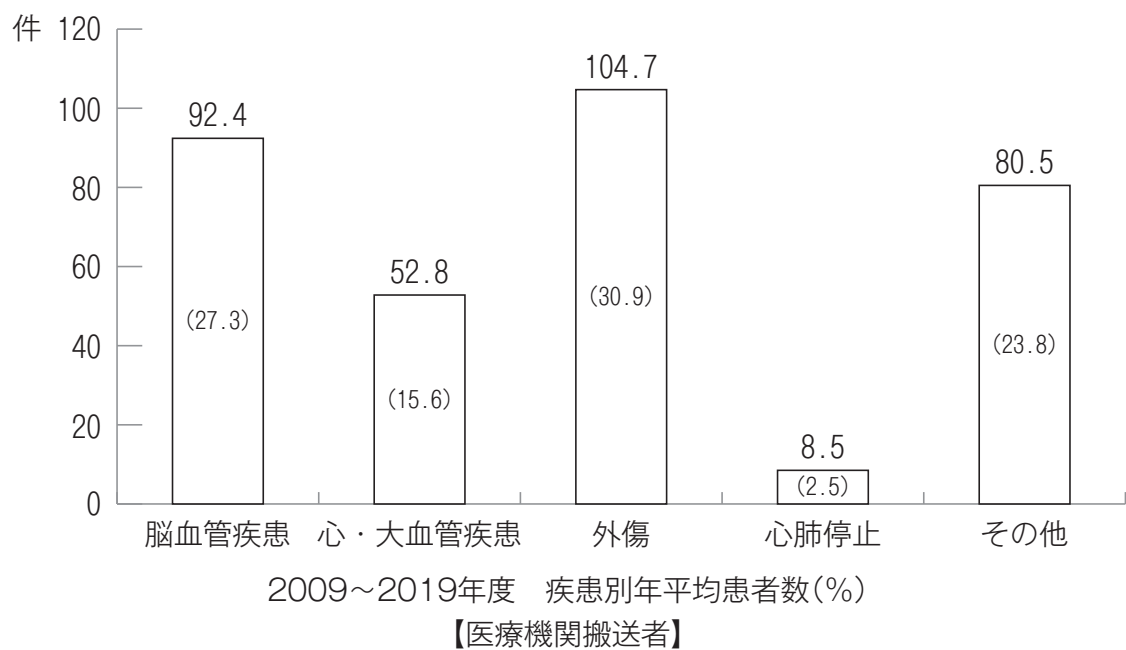
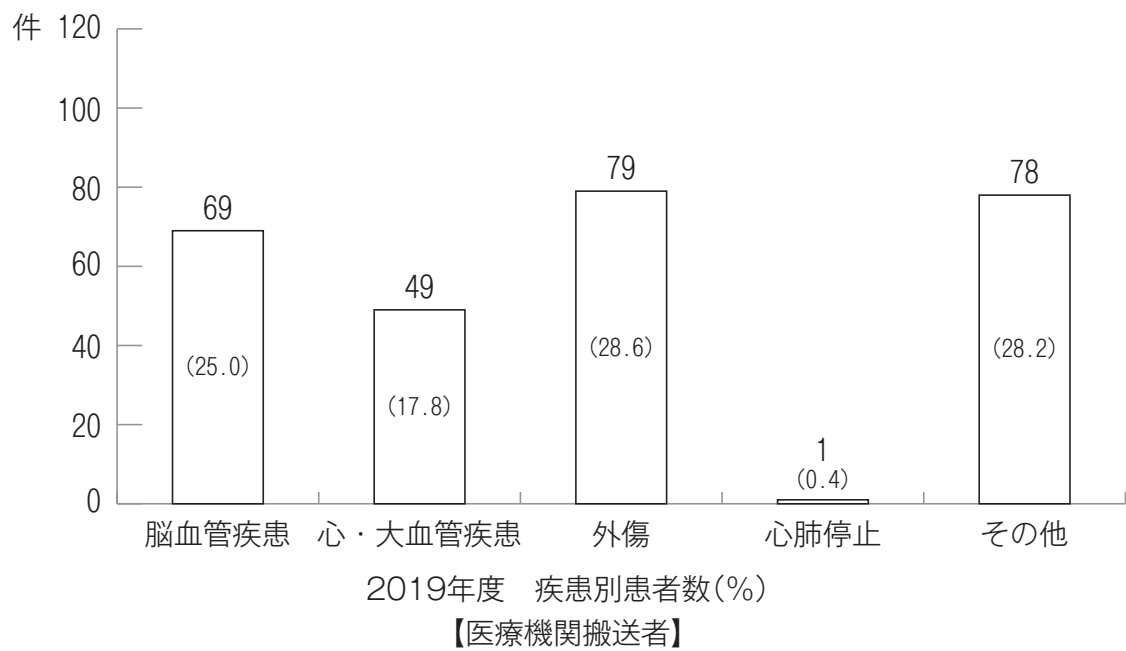
- バイタルサイン :
- 脈拍が弱く、かすかにしか触れない、全く脈がないこと。
 - 呼吸が弱くて止まりそうであること、遠く浅い呼吸をしていること、呼吸停止。
 - 呼吸障害、呼吸がだんだん苦しくなってきたこと。

Ⅲ. 傷病者状況

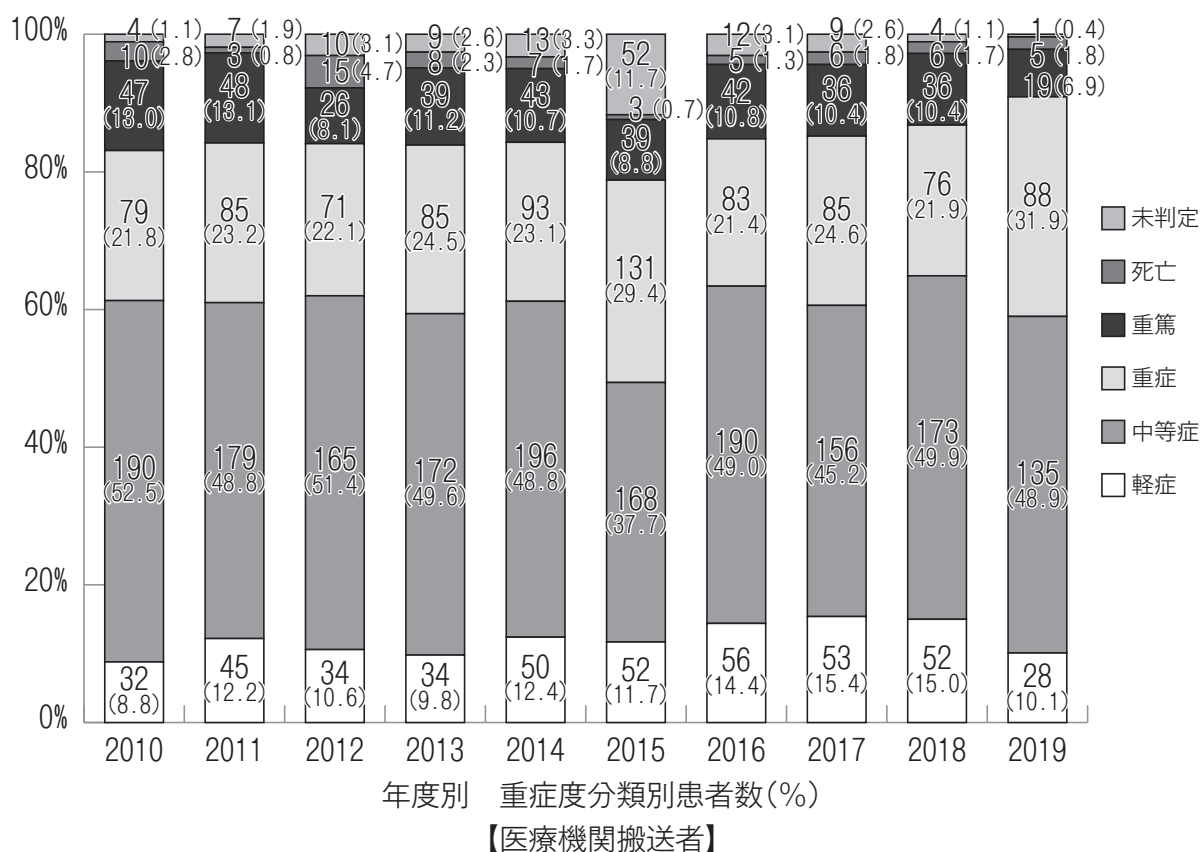
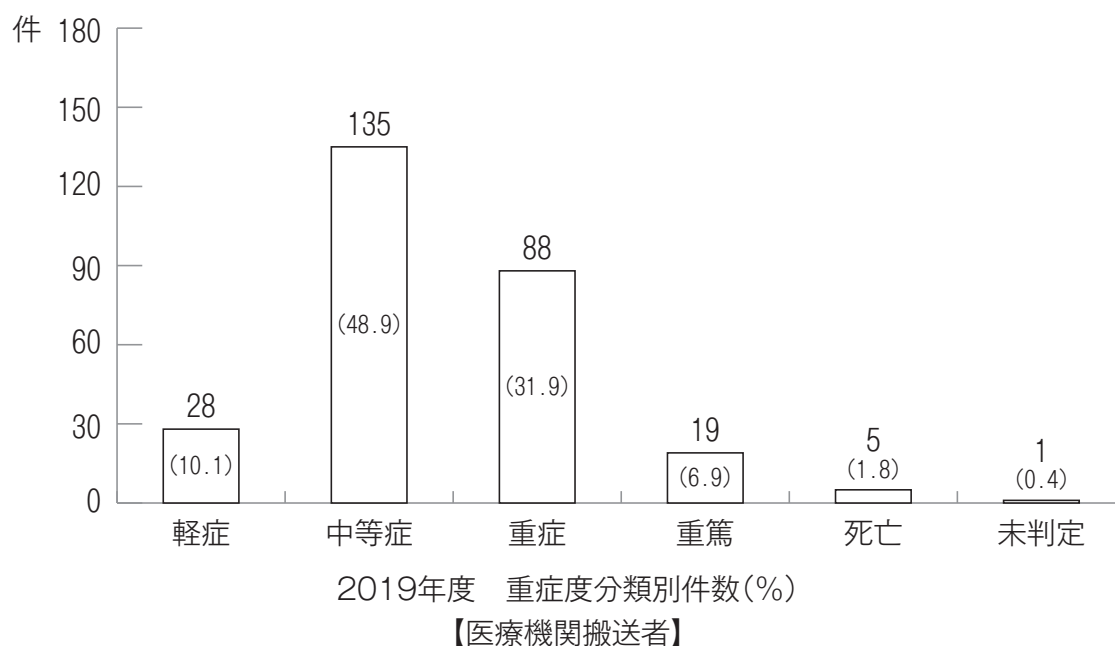
(1) 年齢階層



(2) 疾患分類



(3) 重症度分類



【軽 症】＝入院を要しないもの。

【中等症】＝生命の危険はないが入院を要するもの。

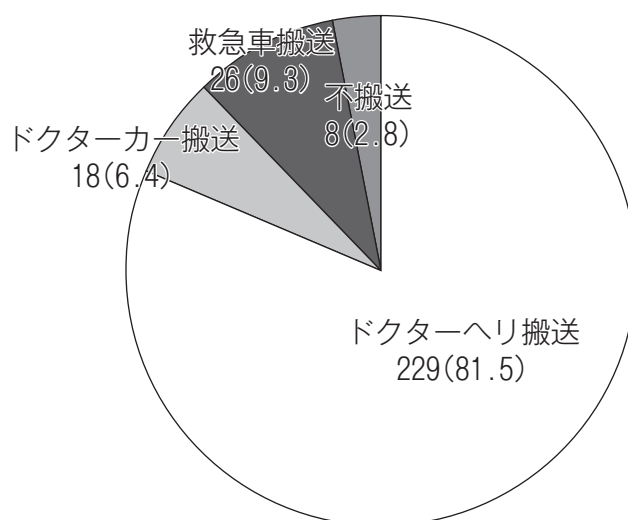
【重 症】＝生命の危険の可能性のあるもの。

【重 篤】＝生命の危険が切迫しているもの。

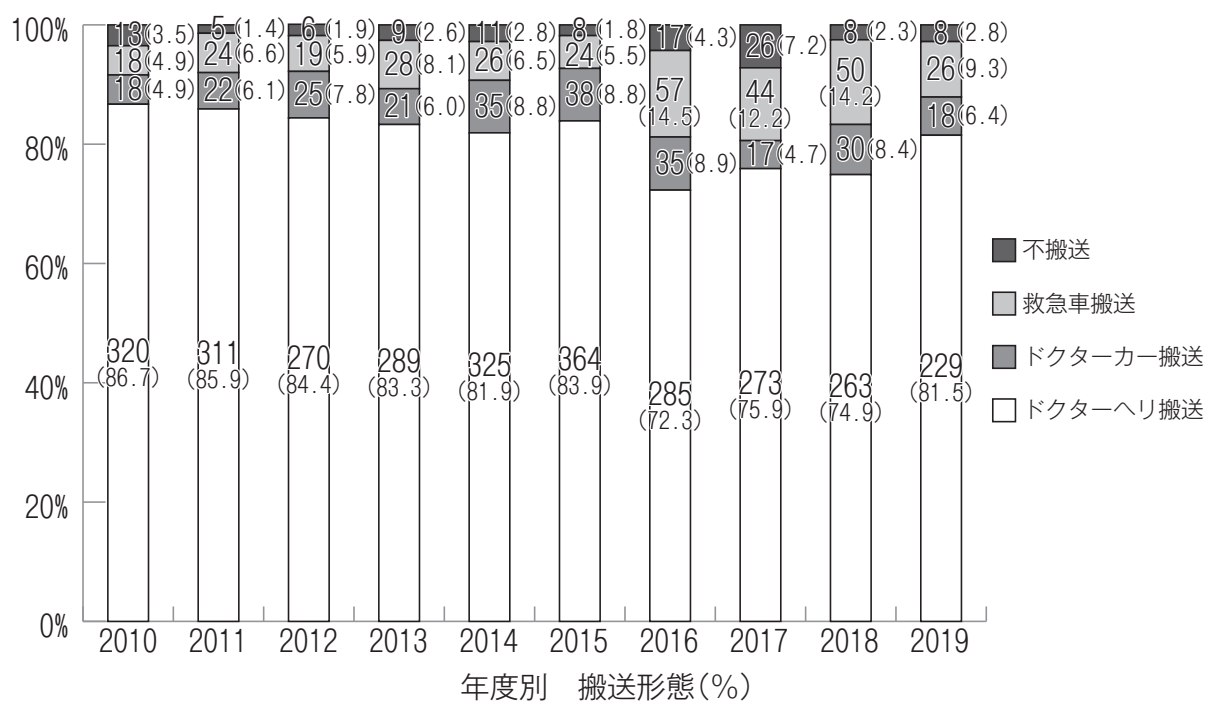
【死 亡】＝初診時死亡が確認されたもの。

IV. 搬送状況

(1) 搬送形態



2019年度 搬送形態(%)



【ドクターヘリ搬送】 = ドクターヘリで搬送したもの。

【ドクターカー搬送】 = 消防機関等の救急車にドクターヘリ搭乗医師が同乗し搬送先医療機関へ搬送を行ったもの。

【救 急 車 搬 送】 = ドクターヘリ搭乗医師により、救急隊による搬送で対応可能と判断され、搬送先医療機関へ救急隊によって搬送を行ったもの。

【不 搬 送】 = 救急現場及び搬送元医療機関等において、医学的判断から搬送すべきではないと判断され、ドクターヘリ等で搬送しなかったもの。

(2) 収容病院

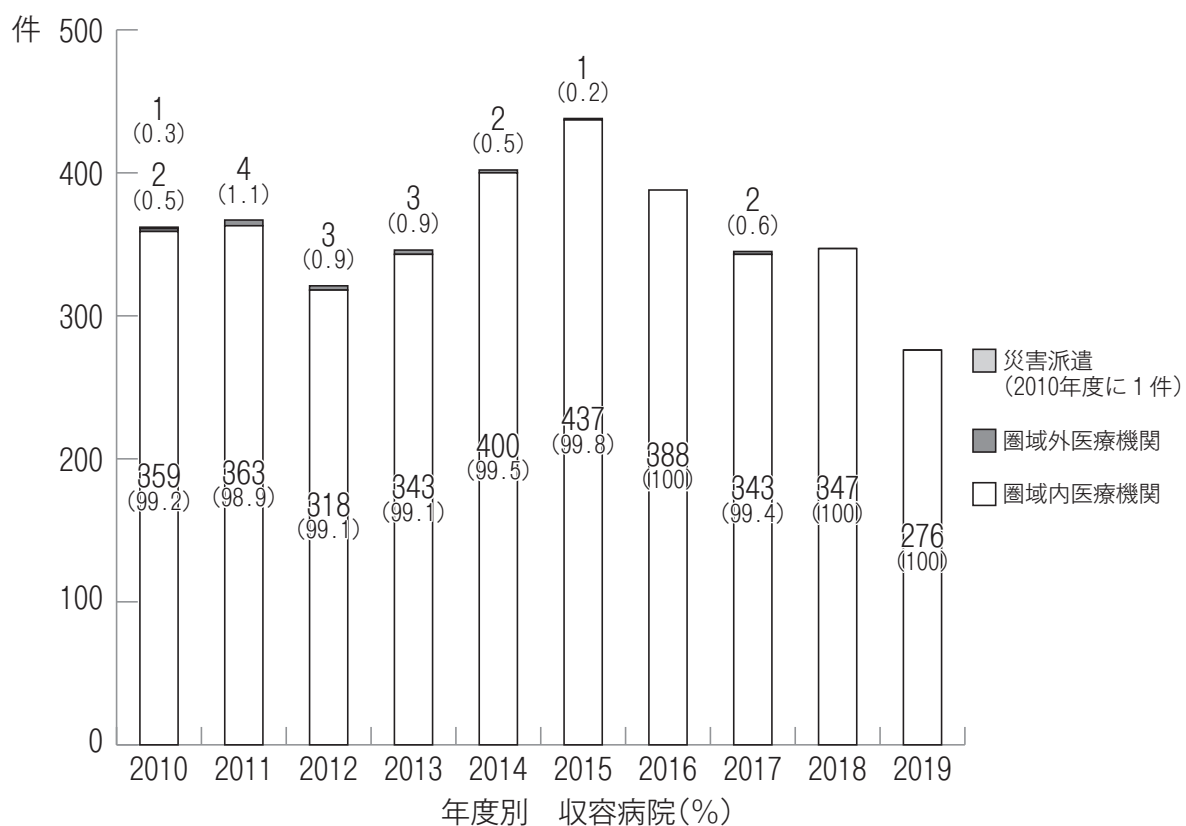
釧根地区	傷病者数
市立釧路総合病院	142
釧路孝仁会記念病院	83
釧路労災病院	23
釧路赤十字病院	4
町立厚岸病院	1
摩周厚生病院	1
標茶町立病院	2
市立根室病院	1
町立中標津病院	1
町立別海病院	4
計	262

北網地区	傷病者数
北見赤十字病院	4
計	4

十勝地区	傷病者数
帯広厚生病院	9
国立病院機構帯広病院	1
計	10

合計	276
----	-----

2019年度 収容病院



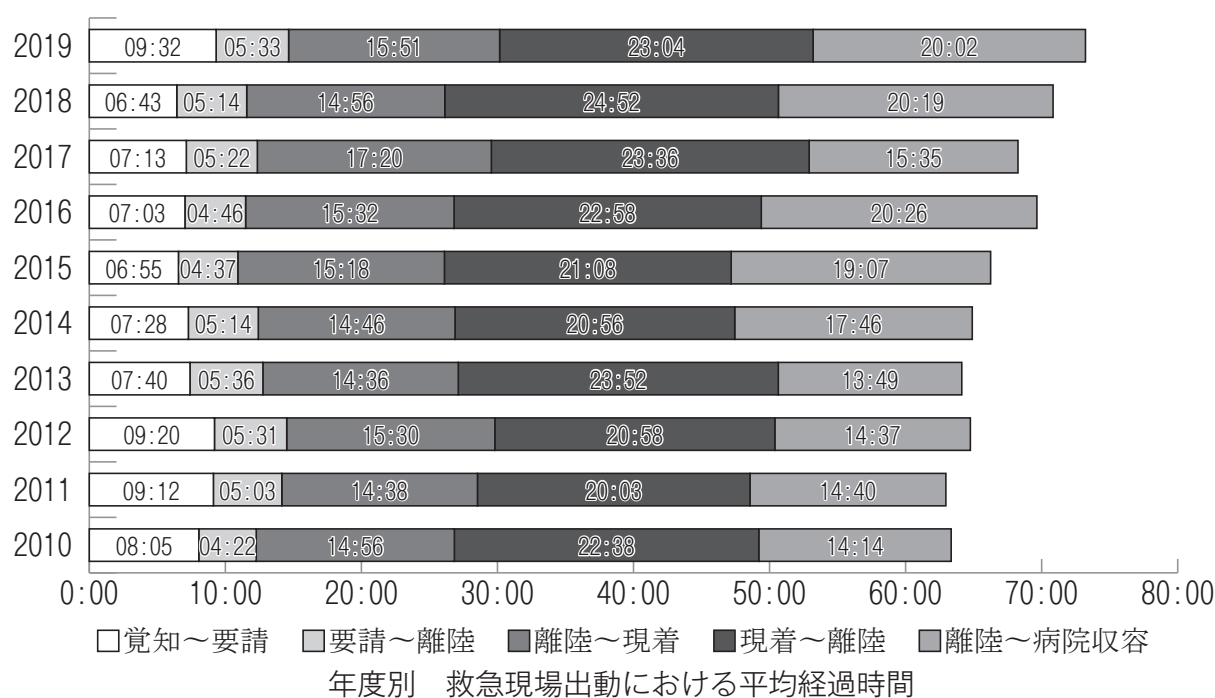
(3) 時間経過

区 分	全期間		(夏 期)		(冬 期)	
消防覚知～ ドクターヘリ要請 n=158 (*1)	09分32秒	(±11分27秒)	09分27秒	(±11分27秒)	09分43秒	(±11分27秒)
ドクターヘリ要請～ 基地・基幹連携病院離陸 n=134 (*2)	05分33秒	(±02分14秒)	05分26秒	(±02分14秒)	05分47秒	(±02分14秒)
基地・基幹連携病院離陸 ～現場着陸 n=134 (*3)	15分51秒	(±06分32秒)	15分45秒	(±06分39秒)	16分03秒	(±06分19秒)
現場着陸～ 現場離陸 n=104 (*4)	23分04秒	(±07分24秒)	23分42秒	(±07分39秒)	21分30秒	(±07分37秒)
現場離陸～ 医療機関収容 n=104 (*4)	20分02秒	(±07分24秒)	20分06秒	(±07分07秒)	19分50秒	(±08分04秒)

消防覚知～ 医師接触 n=134 (*5)	34分09秒	(±12分09秒)	33分21秒	(±09分59秒)	35分57秒	(±15分52秒)
消防覚知～ 医療機関収容 n=104 (*6)	72分29秒	(±16分56秒)	73分31秒	(±16分34秒)	69分56秒	(±17分35秒)

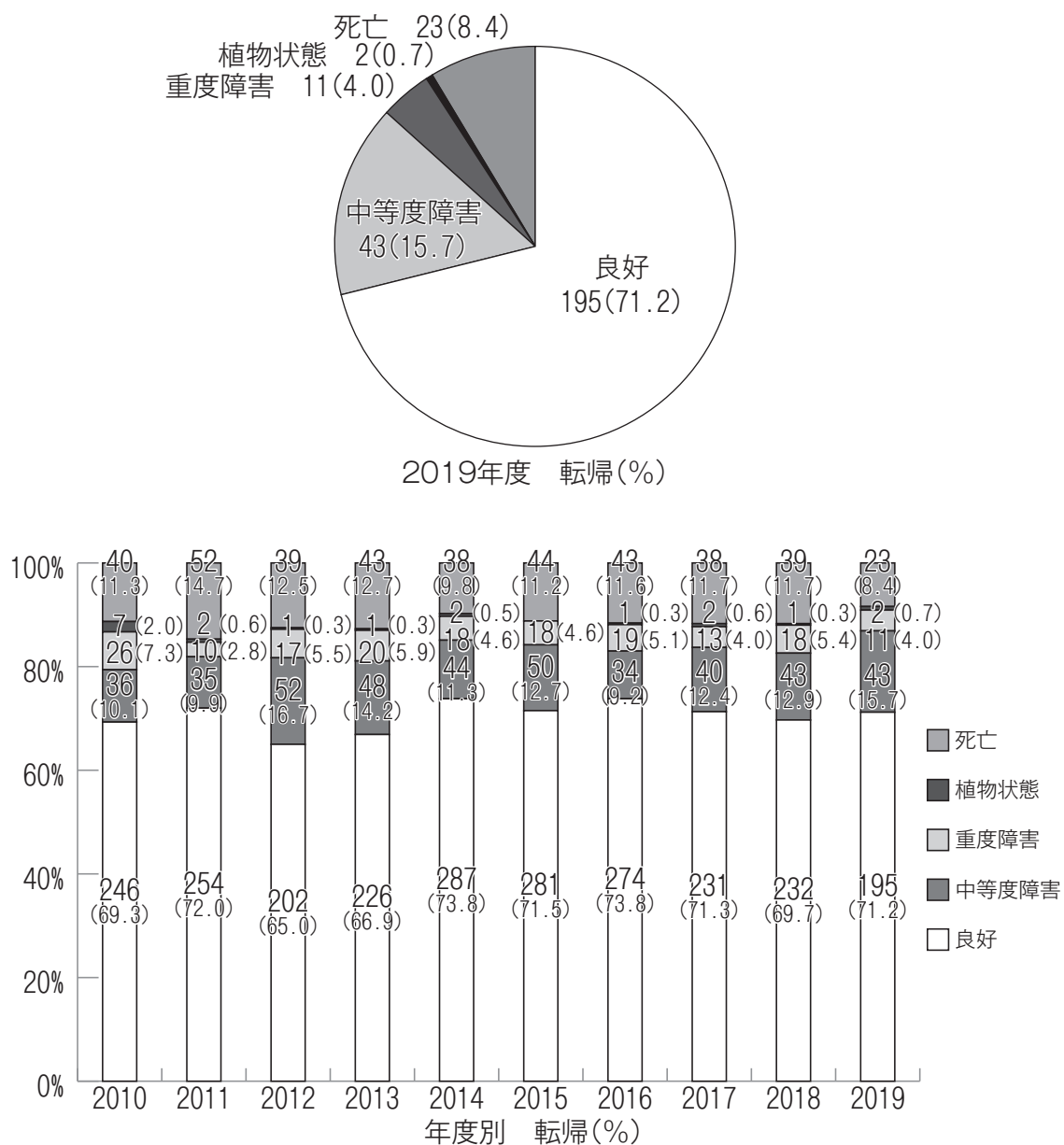
2019年度 救急現場出動における平均時間経過（標準偏差）

- *1：消防機関の覚知とドクターヘリ要請時間が明確な事例158件（夏期109件、冬期49件）
 *2：上記*1の事例158件のうち通常の出動待機状態から対応した事例134件（夏期93件、冬期41件）
 *3：上記*2の事例134件のうち、現場到着時間が明確な事例134件（夏期93件、冬期41件）
 *4：上記*3の事例134件のうち、現場離陸時間が明確な事例からドクターヘリにより搬送された事例104件（夏期74件、冬期30件）
 *5：上記*2から医師接触時間が明確な事例134件（夏期93件、冬期41件）
 *6：消防覚知から医療機関収容までのデータが明確かつドクターヘリにより搬送された事例104件（夏期74件、冬期30件）



V. 転帰・ドクターヘリの効果

(1) 転帰



【良 好】 = 健康で意識清明。もしくは、軽度の後遺症があるが、労働可能で通常の生活ができる。

【中等度障害】 = 意識があり中等度の後遺症があるが、パートタイムでの仕事は可能で、介助なしに着替えや炊事、旅行などの日常生活を送れる。

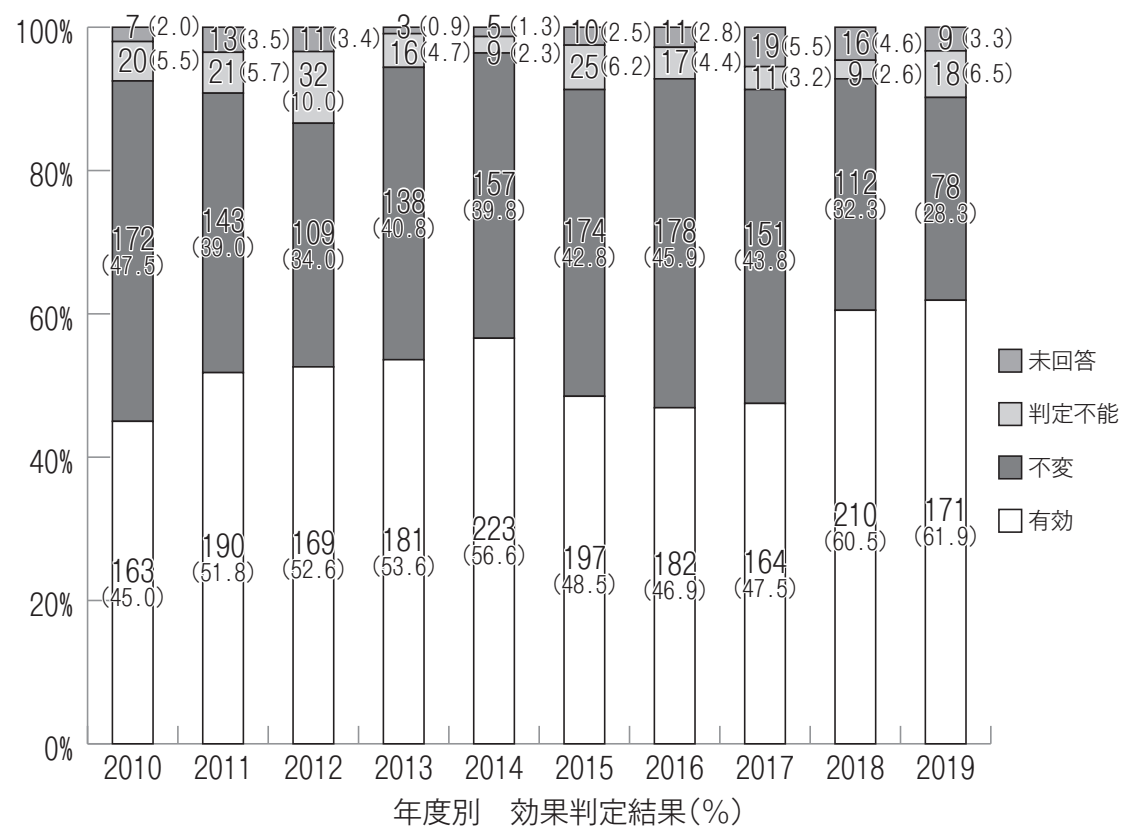
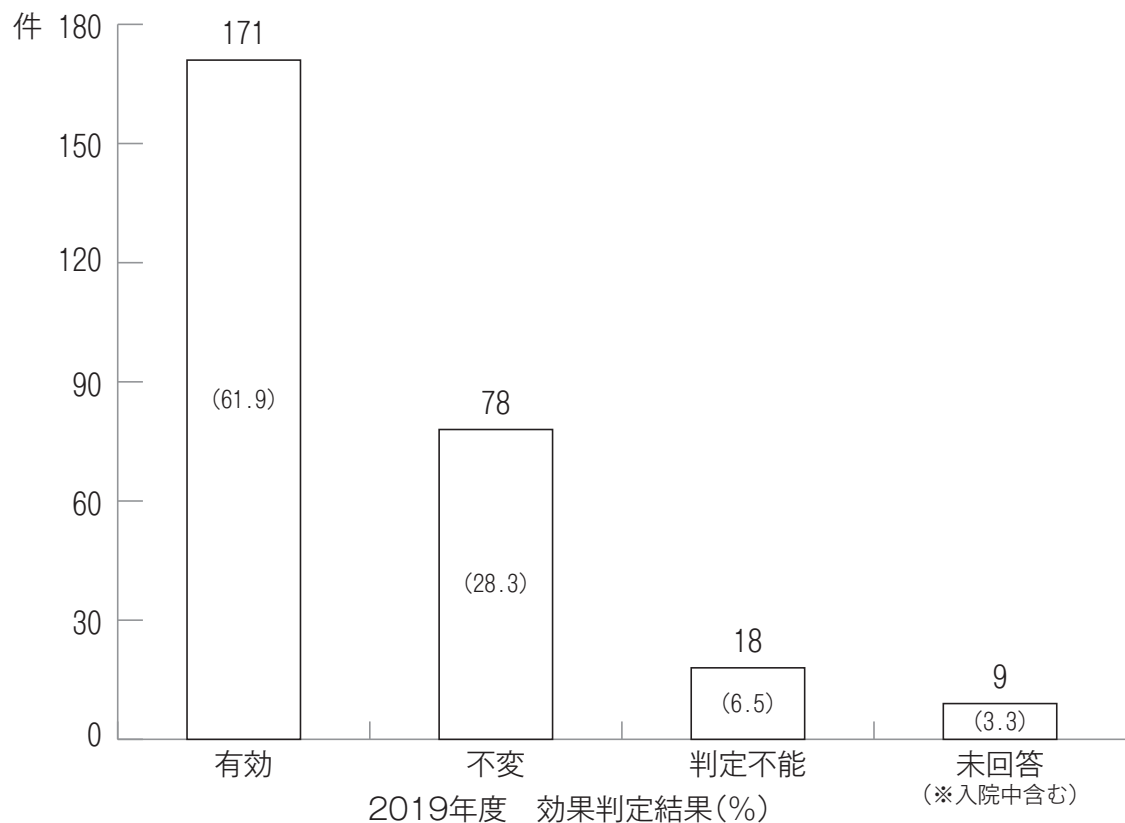
【重 度 障 害】 = 意識はあるが、重度の後遺症があり、食事や排泄などの日常生活に介助を必要とする。言葉を発したり身体を動かすことはできないが、目でのみ意思表示できる場合も含まれる。

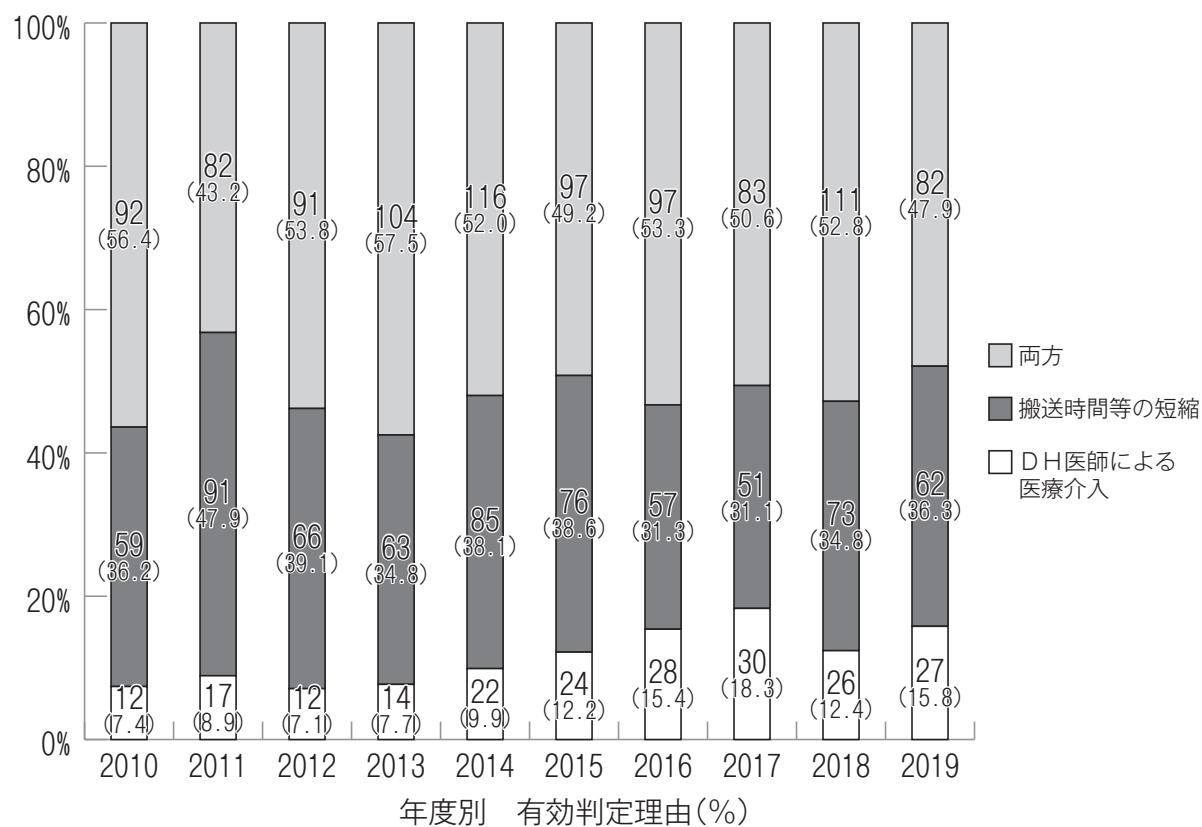
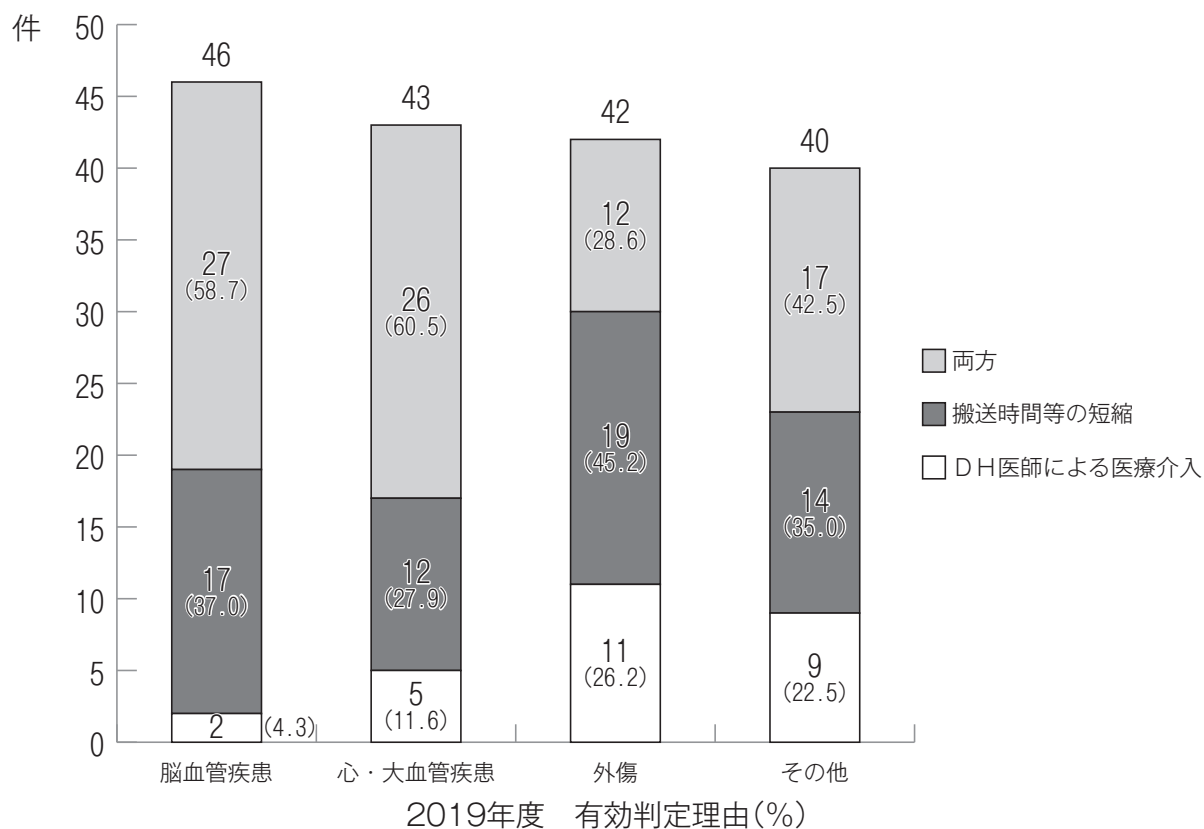
【植 物 状 態】 = 昏睡、植物状態。

【死 亡】 = 死亡、もしくは脳死。

(2) ドクターヘリの効果

※ドクターヘリによる効果判定につきましては、医学的根拠に基づき外部医師に判定していただいております。





Ⅵ. 会議等

(1) 道東ドクターヘリ運航調整委員会 役員会

開催場所：市立釧路総合病院 2階会議室
開催日時：2019年5月14日(火) 18:00～
年間開催回数：1回
出席者：道東ドクターヘリ運航調整委員会役員等 11名

(2) 道東ドクターヘリ症例検討会

開催場所：釧路市生涯学習センター「まなぼっと幣舞」 2階多目的ホール
市立釧路総合病院 2階講堂
開催時間：18:30～
年間開催回数：6回
第1回2019年4月19日(金) 第2回2019年6月7日(金)
第3回2019年8月2日(金) 第4回2019年10月25日(金)
第5回2019年12月17日(火) 第6回2020年2月7日(金)
年間事例検討数：15件
総参加延べ人数：437名
医師 33名、看護師 53名、消防職員 307名
病院職員 16名、運航業者 15名、その他 13名

(3) 道東ドクターヘリ運航調整委員会

開催場所：釧路市生涯学習センター「まなぼっと幣舞」 2階多目的ホール
開催日時：2019年7月30日(火) 18:00～
年間開催回数：1回
出席者：道東ドクターヘリ運航調整委員会の委員等 40名

(4) 道東ドクターヘリ運航調整委員会 事後検証部会

開催場所：釧路市生涯学習センター「まなぼっと幣舞」 8階801号室
開催日時：2020年2月4日(火) 18:00～
年間開催回数：1回
出席者：道東ドクターヘリ運航調整委員会事後検証部会委員 14名

VII. 参加訓練

(1) 組合内警防活動訓練（網走地区消防組合）

開 催 場 所 : 網走消防署南出張所訓練場及び網走市除雪センター敷地内
実 施 日 時 : 2019年5月25日(土) 9:00～
参 加 者 : 搭乗医師 1名、搭乗看護師 1名、機長 1名
整備士 1名

(2) 釧路市防災総合訓練（釧路地区）

開 催 場 所 : 東港区中央埠頭他
実 施 日 時 : 2019年7月12日(金) 12:50～
参 加 者 : 搭乗医師 1名、搭乗看護師 1名、機長 1名
整備士 1名

(3) 道東ドクターヘリ就航10周年記念行事 ドクターヘリ公開訓練

開 催 場 所 : 釧路市観光国際交流センター前芝地（幸町緑地）
実 施 日 時 : 2019年10月19日(土) 11:00～
参 加 者 : 搭乗医師 1名、搭乗看護師 1名、機長 1名
整備士 1名

VIII. 記念式典・講演会

道東ドクターヘリ就航10周年記念式典・講演会

開 催 場 所 : ANAクラウンプラザホテル釧路
実 施 日 時 : 2019年10月18日(金) 16:00～
参 加 者 : 来賓 6名、医師会 6名、消防機関 29名
医療機関 27名、行政機関 14名、運航委託会社 11名
基地病院 18名、その他 4名



***E**ast hokkaido*
***A**ir ambulance for*
***S**hock and*
***T**rauma*

2019年度 道東ドクターヘリ運航実績報告書

2021年3月発行

編集 道東ドクターヘリ運航調整委員会
印刷 藤田印刷株式会社

Doctor Hell

大切な命を救うために

To save the life